

“あたりまえ”の生活を地下から支える

# ながおかの下水道

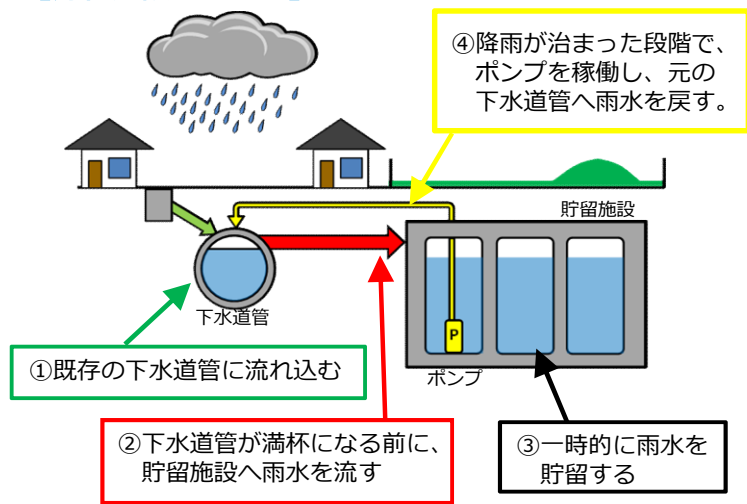


編集：広報WG『縁の下のチカラボ』by 長岡市下水道課

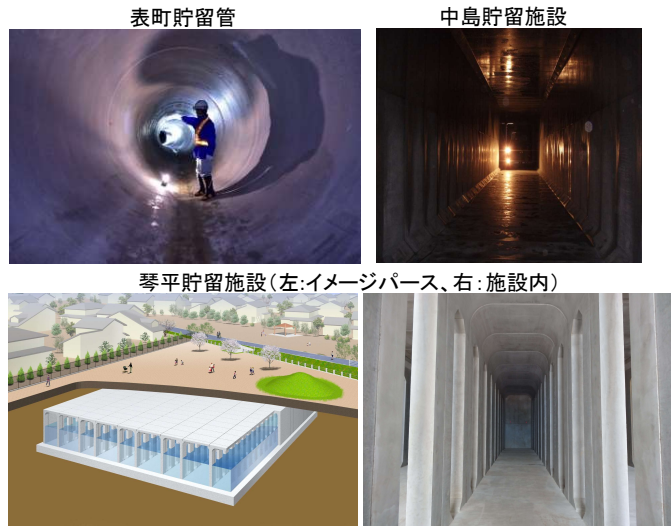
## 大雨からまちを守る

市街化によって道路や建物の敷地がアスファルトやコンクリートに覆われ、雨が地面に浸透する面積が少なくなっています。近年頻発するゲリラ豪雨などで、短時間に多量の雨水が下水道や河川に流れ込むと、排水できずに浸水被害が発生します。市では、浸水被害の軽減を図るため、貯留管や貯留施設、寿町排水ポンプ場の整備を進めています。

### 【貯留施設の仕組み】



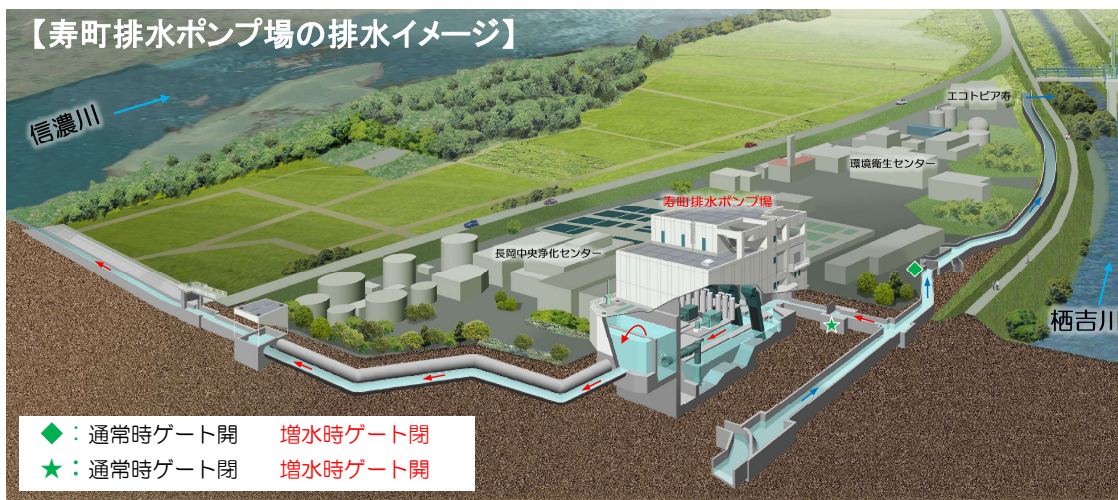
### 【整備した貯留施設の紹介】



## 寿町排水ポンプ場を整備しています！

国道8号長岡バイパス以北の栖吉川左岸区域に位置する蔵王処理分区では、近年多発する豪雨の際にたびたび浸水被害が発生しています。この区域では、汚水を長岡中央浄化センターへ、雨水を一級河川栖吉川へ排水していますが、河川の水位上昇により雨水が滞留し、地盤の低いところで浸水被害が発生していました。被害軽減を図るため、市内最大級の排水能力を持つポンプ場を整備し、大雨の際には信濃川へ雨水を排水することで安定した内水排除を図ります。

### 【寿町排水ポンプ場の排水イメージ】



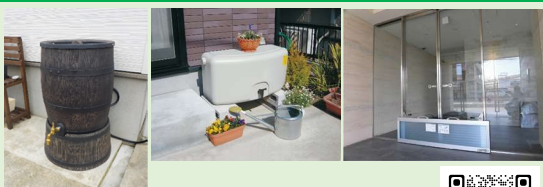
### 整備概要

整備場所	長岡市寿3丁目
排水能力	9トン/秒
区域面積	237.7ha
計画目標	7年確率 (降雨強度42mm/hr)
整備効果	Point 1 市内最大の排水能力 Point 2 信濃川への排水により安定した内水排除が可能 Point 3 整備前と比べ、浸水エリアが <b>53%</b> 軽減

## 身近な浸水対策の紹介

～雨水タンク・防水板設置補助制度について～

長岡市では、住宅や事務所などに雨水タンクや防水板を設置される方へ、費用の補助を行っています。雨水タンクに一時的に貯めた水は家庭菜園などに使え、環境にもやさしい設備です。みなさんも身近にできる浸水対策をはじめませんか。



設置補助制度の詳細情報はこちら



## 数字でみる長岡市の下水道

9箇所

貯留施設の数

7箇所

雨水ポンプ場の数

96箇所

雨水調整池の数

(数値は令和3年度末現在)

